

～人材は企業の宝、山形の未来～

令和元年度山形県製造業技術者研修

# 「清酒製造技術」

## 募集案内

### 《 参加のおすすめ 》

近年の山形県産酒は、各種コンテストにおいて常に上位の成績を収めています。令和元年のIWC(インターナショナルワインチャレンジ)日本酒部門の審査では、昨年引き続き金賞受賞数日本一(6年連続)になる等、県産酒のレベルの高さが伺えました。これは、蔵元の皆様の吟醸酒や純米酒に対する弛み無い研究と、長年培った様々な啓蒙活動の成果と心から敬意を表するところです。

本研修は今年で42回目を迎えました。長く継続しているこの研修も、醸造技術の向上に大きな役割を担っているものと思います。

本年度も、醸造技術の更なるレベルアップと県産酒の消費拡大を支援します。全国酒造会社の有力杜氏や醸造責任者からの技術的な講話、日本酒専用グラスやHACCPに関する講義、流通・業界関係者からの提言など、GI山形を取得した県産酒の評価が高まっている今、本県にとって有意義な研修になると思われれます。例年同様、きき酒の実践的指導を行うなど、技術的にも深い内容のカリキュラムとなっております。

ぜひ、ご参加くださるようご案内申し上げます。

山 形 県

公益財団法人山形県産業技術振興機構

山 形 県 酒 造 組 合

**山形県製造業技術者研修**  
**「清酒製造技術」課程**

**募集要項**

日	時	第 1 日	令和元年	8月8日	(木)	10:00	～	17:00
		第 2 日		8月9日	(金)	10:00	～	17:00
		第 3 日		9月18日	(水)	10:00	～	17:00
		第 4 日		9月19日	(木)	10:00	～	17:00
		第 5 日		10月2日	(水)	10:00	～	17:00
		第 6 日		10月3日	(木)	10:00	～	17:00

会 場 山形県工業技術センター 本館3階 <講堂> (山形市松栄2-2-1)

定 員 32名 (申込書先着順)

申込締切 令和元年7月25日(木)

受講料 23,000円

受講手続 別紙受講申込書をFAXください。(FAX:023-647-3139)  
後日、受講決定通知書と県の納入通知書をお送りします。

納入方法 受講料は、後日送付される受講決定通知書および県の納入通知書が届いてから、納入通知書を添えて所定の金融機関の窓口で納付ください。  
なお、納付いただいた受講料は、原則としてお返しできませんのでご了承ください。

修了証書 所定の課程(研修時間70%以上の出席)を修了した方には、修了証書が授与されます。

申込み・(公財)山形県産業技術振興機構 研修課 軽部毅靖、小林 久美子  
問合せ先 〒990-2473 山形市松栄二丁目2-1  
(山形県高度技術研究開発センター内)  
TEL:023-647-3154 FAX:023-647-3139

《 製造業技術者研修の受講にあたり、下記事項についてご承知ください。》

1. 受講者が研修施設及び器具等を故意または重大な過失により破損した場合には、その損害については、賠償していただくこととなります。
2. 研修中に発生した一切の傷病については、県および機構は責を負いかねます。

## 清酒製造技術カリキュラム

	時 限	教 科	講 師
8 月 8 日 (木)	10:00~12:00	(仮)日高見の酒造り	株式会社平孝酒造 杜氏 子鹿 泰弘
	13:00~15:00	(仮)男山の酒造り	男山株式会社 杜氏 北村 秀文
	15:00~17:00	黒龍の酒造り	黒龍酒造株式会社 醸造部部长 畑山 浩
8 月 9 日 (金)	10:00~12:00	(仮)極聖(きわみひじり)の酒造り	宮下酒造株式会社 杜氏 岡崎 達郎
	13:00~15:00	(仮)甲子正宗(きのえまさむね)の酒造り	株式会社飯沼本家 工場長 川口 幸一
	15:00~17:00	惣誉の酒造りについて	惣誉酒造株式会社 杜氏 秋田 徹
9 月 18 日 (水)	10:00~17:00	きき酒実習	山形県工業技術センター 開発研究専門員 石垣 浩佳 開発研究専門員 工藤 晋平 主任専門研究員 村岡 義之 研究員 長谷川 悠太
9 月 19 日 (木)	10:00~12:00	(仮)日本酒専用グラスについて	RSN Japan 株式会社 セールスアカウントマネージャー 川崎 裕次郎
	13:00~15:00	①NEC清酒もろみ分析クラウドサービス ②(仮)最近の活性炭について	①NECソリューションイノベータ株式会社 営業統括本部 北海道営業部部长 市田 悦大 ②川北化学株式会社 (未定)
	15:00~17:00	HACCPと蔵内の衛生管理	アース環境サービス株式会社 仙台支店 仙台営業所 チームリーダー 課長代理 芝 大介
10 月 2 日 (水)	10:00~12:00	(仮)依田酒店の取り組み	(株)依田酒店 代表取締役社長 依田 浩毅
	13:00~15:00	日本酒の海外市場概況	日本酒造組合中央会 海外業務グループ シニアマネージャー 井内 博美
	15:00~17:00	百貨店と地酒	株式会社阪急阪神百貨店 第一店舗グループ フード 商品統括部 グロッサリー・日配品・リカー商品部 マーチャンダイザー(商品部長) 北川 誠二
10 月 3 日 (木)	10:00~12:00	都心部の酒販店の現状と勝鬨酒販の取り組み	勝鬨酒販株式会社 課長 堀口 潤一
	13:00~15:00	(仮)JFOODOの取り組み	JFOODO 事務局長 大泉 裕樹 (日本食品海外プロモーションセンター)
	15:00~17:00	(仮)(有)升新商店の取り組み	(有)升新商店 代表取締役 山崎 幸雄

令和元年度 公益財団法人 山形県産業技術振興機構における各種研修事業 概要

	コース名	研修概要	研修時期	日数	定員	受講料	
製造業技術者研修	1 品質管理	品質管理の考え方と実践を具体的な事例をとおして学び、品質管理体制の構築の手法を習得する。	9/6 9/13 9/20 9/27	4日	32	24,000	
	2 精密測定技術【終了】	精密測定の講義、ならびにマイクロメータの使い方・表面粗さなどの実習を行うことにより、精密測定技術の基礎を習得する。	6/5 6/6 6/7	2日	12	22,000	
	3 切削加工・研削加工技術【終了】	切削加工および研削加工について、講義および実習を通じて基礎的かつ実践的な技術力の習得を図る。	6/10 6/11 6/12 6/13	2日	15	24,000	
	4 製品設計・製造に役立つ金属材料学	工業製品の設計・製造に不可欠な材料について、鉄系材料を中心として基礎的な知識を習得する。また、強度試験、硬さ試験、組織観察等を通じて金属材料の評価方法を学ぶとともに、材料の特性と組織の関係等についても理解を深める。	11/7 11/8	2日	18	23,000	
	5 産業用ロボット特別教育研修【終了】	産業用ロボットの操作方法や、操作で必要となる知識について、習得する。労働安全衛生法により、現場導入に必要となる、教示等の業務に従事する者に義務付けられている研修である。	5/28 5/29	2日	15	23,000	
	6 異物解析技術入門	顕微赤外分光分析装置および超高分解能走査型電子顕微鏡を中心とした分析機器の原理や機能について、実際の装置の操作実習を通して学習する。また、分析に係る試料作成法や取得したデータの解析法等、現場で活用できる知識を習得する。	10/30 10/31	2日	12	23,000	
	7 プラスチック材料の射出成形と物性評価	プラスチック射出成形の基礎とプラスチック材料の熱的特性及び機械的特性の基本的な試験方法を習得し、プラスチック材料を利用する上での基礎的知識を学ぶ。	10/10 10/11	2日	15	23,000	
	8 清酒製造技術	各県を代表する有力杜氏や技術者を招聘し、技術解説を行っていただくとともに、酒質の変遷や今後の市場動向等について学習する。	8/8 8/9 9/18 9/19 10/2 10/3	6日	32	23,000	
	9 食品の安全管理技術【終了】	食品製造における安全管理項目として重要な、①微生物検査、②異物鑑別、③アレルギー物質の検査、について基本技術の習得を目標とする。	6/18 6/19	2日	15	23,000	
	10 信頼性試験と加速試験の基礎(置賜)	電子機製造業を中心に重要性が高まる「信頼性」について、その概念から、基本的な信頼性技法、品質トラブルを未然に防ぐための考え方、加速試験の種類とデータ解析方法、部品調達の留意点までを、置賜試験場の試験装置の紹介を交えながら学ぶ。	10/23 10/24	2日	12	23,000	
	11 食品の品質管理(庄内)	食品衛生法の改定により、原則すべての食品事業者が「HACCPに基づく衛生管理」計画を策定することが義務付けられる。本研修では、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理について、本県の支援制度を含めて講義と実習を実施する。	8/21 8/22	2日	12	23,000	
人材育成研修	1 ものづくり産業マネジメント人材育成研修	企業の経営者のほか、管理部門リーダー、現場リーダー等を対象として、企業マネジメントや現場マネジメントに係る各種知識やスキルを習得するとともに、昨今の人手不足に対応するための生産性向上に向けた各種手法を習得し、参加者が自社における課題解決に対応する能力を高め、あわせて、新たに採用した社員を定着させるスキルを身につける。	10/2 10/9 10/16 10/23 10/29	5日	15	20,000	
成長分野参入人材育成研修	1 自動車関連研修	自動車関連の新製品開発に向けた知識の習得を目指す。	8/28	1日	15	2,500	
	2 生産管理研修【募集終了】	納期を見据えた製造工程の管理方法の習得を目指す。	7/17 7/18	2日	15	5,000	
	3 在庫管理研修【終了】	在庫管理の改善によるコスト低減の手法の習得を目指す。	5/28 5/29	2日	15	5,000	
	4 生産改善研修	講義と現場実習を通して実践的な改善手法を学び自社の生産性向上を図る。	(一般)	10/8 10/18 10/25	3日	15	7,500
			(女性向け)	9/12 9/19 9/26	3日	15	7,500
	5 現場リーダー資質向上研修	県内企業において、部下の積極性・意欲を高められるよう現場リーダー層の指導力向上を目指した研修を実施し、企業の組織力の強化を図る。	11月	2日	15	5,000	
	6 ものづくり人材初級研修【募集終了】	ものづくり産業の基本や産業人の心構えを学ぶことにより、社員の意識向上、離職防止を図る。	6/11 6/12 11/28	3日	15	7,500	
7 自動車部品ライブラリーの展示	自動車部品ライブラリーの展示及び部品貸し出しの実施 【展示場所：山形県高度技術研究開発センター 玄関展示ロビー】	通年	-	-	-		
ロボットシステム育成研修	1 入門(営業技術コース)研修	ロボットシステムの導入プロセス標準「RIPS」の習得、並びに最適なロボットシステム導入に不可欠な工程分析、生産プロセス提案能力の習得を目指す。	7/24 7/25	2日	20	10,000	
	2 専門(ハード設計コース)研修	工業技術センターの協働ロボット仮想生産ラインを活用し、ロボットハンドの設計技術や把持計画など専門的なスキルの習得を目指す。	9月	2日	15	10,000	
	3 応用(ソフト設計コース)研修	工業技術センターの協働ロボット仮想生産ラインを活用し、制御プログラムやセンサ対応能力などより高度なスキルの習得を目指す。	11月	2日	15	10,000	

- ◆ お問い合わせ先 公益財団法人山形県産業技術振興機構技術部研修課  
〒990-2473 山形市松栄2-2-1 山形県高度技術研究開発センター内  
TEL : 023-647-3154/FAX : 023-647-3139/E-mail : info@ypoint.jp
- ◆ 募集案内および応募方法は、およそ1か月前に山形県産業技術振興機構ホームページ <http://www.ypoint.jp/> に掲載予定です。
- ◆ 研修内容及び研修時期については、講師の日程調整等により変更になる場合があります。

# 令和元年度山形県製造業技術者研修受講申込書

## 「 清酒製造技術 」 課程

会社名								
所在地	〒 -							
TEL				FAX				
受講者との 連絡担当者	所属			役職			内線	
	ふりがな	.....						
	氏名							
	E-mail							
受講者	所属			役職			/	/
	年齢			勤続年数			性別	男・女
	ふりがな	.....						
	氏名							
受講者	所属			役職			/	/
	年齢			勤続年数			性別	男・女
	ふりがな	.....						
	氏名							
受講者	所属			役職			/	/
	年齢			勤続年数			性別	男・女
	ふりがな	.....						
	氏名							